



YAMAGATA International
Documentary Film Festival
2021 ONLINE October 7-11

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021
10月7日[木] - 14日[水] オンライン開催

www.yidff.jp

Aug.

8

2021

9
Sep.



Yamagata City of Film
ユネスコ創造都市やまがた

参加無料

夏の思い出作り 山寺の満天の星の下で映画を観よう!

令和3年度 やまがた市民映画学校×星空上映会

8月21日(土)午後6時45分～(開場 午後5時30分)

山寺芭蕉記念館 敷地内

*雨天時は山寺小学校体育館(お車は学校の駐車場)に変更。
当日午後3時に映画祭トップページにて会場をお知らせします。

上映作品

『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』
(監督:トム・ムーア/2014/93分/日本語吹替え版)



©Cartoon Saloon, Melusine Productions, The Big Farm, Superprod, Nolium

アイルランドに伝わる神話をもとに、海ではアザラン、陸では人間の女性の姿になる妖精と人間との間に生まれた兄妹の冒険を描いた傑作アニメーション。

参加費:無料

*参加者には当日の芭蕉記念館内の展示「妖怪展」鑑賞を無料サービス!
山形国際ドキュメンタリー映画祭ホームページ(<https://www.yidff.jp/>)
または右記のQRコードからお申し込みください。
締切りは8月13日(金)(定員80名・申込先着順)です。



持ち物:懐中電灯 *雨天時はスリッパまたは履き、座布団

*新型コロナウイルス感染症対策のためマスク着用(不織布推奨)でご来場ください。

[お問い合わせ] 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局
電話: 023-666-4480

www.creative-yamagata.jp

f t i @FilmYamagata

次号発行は
12月1日
予定

編集・発行:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
電話:023-666-4480 FAX:023-625-4550
Eメール:info@yidff.jp ウェブサイト:www.yidff.jp
印刷:大場印刷株式会社 デザイン:丸山 傑



山形国際ドキュメンタリー映画祭2021
YAMAGATA International Documentary Film Festival 2021

YIDFF 2021 オンライン開催決定

第17回を迎える今年の山形国際ドキュメンタリー映画祭開催に向け、コロナ禍の中規模を縮小しながらも、なんとか通常通り山形市内での会場でできないかと模索しながら、昨年からの準備を進めてまいりました。ですが開催まで2ヶ月となった現在も国内の感染状況は収束の兆しが見えず、ワクチン接種が進みつつあるものの、10月はまだ集団免疫を十分獲得できるまでには至らないだろうという見通しから、今年度は「オンライン映画祭」とすることに決定いたしました。山形県民・市民を含む選考委員による厳正な審査を経て選ばれたコンペティション2部門のラインアップは、今年も骨太でユニークな作品ばかりです。ぜひ多くの皆様に、自宅で安全に、かつ気軽に映画を楽しんでいただきたいと願っています。また質疑応答やオンライン交流イベントなど、今年ならではのさまざまな仕掛けも企画中です。人と映画、人と人の偶然の出会いを大切にしてきた当映画祭が初めて試みるオンライン映画祭、ぜひご期待ください。

プログラム紹介

インターナショナル・コンペティション

世界各地より応募された最新長編ドキュメンタリーを上映するプログラム。

アジア千波万波

アジアの新進ドキュメンタリー作家の作品を紹介し、応援するプログラム。

日本プログラム

日本のドキュメンタリー作品の様々な試みを世界に向けて紹介するプログラム。

やまがたと映画

山形とゆかりのある作品や監督を取り上げてきた人気のプログラム。

ほか

インターナショナル・コンペティション選出作品

下記を含む15作品がインターナショナル・コンペティションに選出されました。インターナショナル・コンペティション、アジア千波万波ラインアップはウェブサイトに掲載しています。

スープとイデオロギー

監督:ヤン コンヒ/日本、韓国/2021/118分

濟州島の4・3事件を生き抜いた母の半生に向き合い、失われつつある記憶を掘り取るようとする監督。

『ディア・ピョンヤン』(YIDFF 2005)から続く家族の物語は、歴史の残酷さを取り出し、国家という不確かな存在を問う。



私を見守って

監督:ファリダ・バチャ/スイス、ドイツ、インド/2020/92分

ニューデリーで在宅緩和ケアに動かしむる3人の女性チーム。医師、看護師、カウンセラーとして患者の尊厳に向き合い、家族の悲しみに寄り添う。かけがえのない最期の日々がモノクロームのやわらかな光で綴られる。



カマグログ

監督:アルフォンソ・アマドル/スペイン/2020/111分

灌漑農業の盛んなバレンシア地方の都市近郊で、タイガーナッツを代々育ててきた農家。開発の波に翻弄されながら農業を続ける一家の1年間を追い、その顔に浮かぶ土を耕す喜びと矜持、そして土地の歴史を映し出す。



※「YIDFF 2021」各種オンライン上映・イベントのスケジュールや、配信プラットフォームへは、順次映画祭公式ウェブサイト yidff.jp からアクセスいただけるよう準備中です。

主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 共催:山形市
助成:芸術文化振興基金

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

金曜上映会

鑑賞会員無料(当日受付にてご入会ください)
会費・入会金は不要です。(本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)
会場:山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー
山形市平久保100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング)3F 試写室
主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

8.13

(YIDFF 2021をより楽しむために:1)

▶14:00, 19:00 (2回上映)

金Fri 庭園に入れば

YIDFF 2013 インターナショナル・コンペティション
監督:アヴィ・モグラビ
フランス、イスラエル、スイス/2012/97分



▶16:00 (1回上映) そこにとどまる人々

YIDFF 2017 アジア千波万波
監督:エリアン・ラヘブ/レバノン、アラブ首長国連邦/2016/95分

イスラエル生まれの監督が、パレスティナ人の友人とともに出自をふりかえり、政治情勢に翻弄された故郷の在りようをたどる『庭園に入れば』。レバノン北部、かつて異教徒が隣り合わせて暮らしていた村に、家族がいづれ帰ってくるための家を建てる男を映す『そこにとどまる人々』。

(YIDFF 2021をより楽しむために:2)

9.10

▶14:00, 19:00 (2回上映)

金Fri 誰が撃ったか考えてみたか?

YIDFF 2019 インターナショナル・コンペティション
監督:トラヴィス・ウィルカーソン/アメリカ/2017/90分



▶16:00 (1回上映) 自画像:47KMの窓

YIDFF 2019 インターナショナル・コンペティション
監督:章夢奇(ジャン・モンチー)/中国/2019/110分

曾祖父が起こした黒人男性射殺事件の状況を掘り起こし、家族の闇と事件の背後にある集団的差別意識の実相に迫る『誰が撃ったか考えてみたか?』。中国山間部の小さな村を長期に渡って撮影する連作ドキュメンタリー 8 作目『自画像:47KMの窓』。

YIDFF 2021メインビジュアルについて



今回も東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科3年生の皆さん(57名)に取り組んでいただきました。選考の結果、熊谷菜瑠美(くまがいなるみ)さんのデザインに決定しました。

◆熊谷菜瑠美さんによるコンセプト

ドキュメンタリー映画は、人間一人一人の生き方を映し出しているものだと思います。映される人はそれぞれ異なっていますが、それは個性であり、人は多種多様であるということを表していると考えました。

このポスターのコンクリートの丸いイスにも、様々な色や大きさがあり、この光景は人間の多種多様な面を表しているように思えました。汚れた色褪せたりしている部分もあり、決してきれいとは言えませんが、長い時間使われ、多くの人に受け入れられてきた感じが感じ取れます。

このように日常の中にあって、人間が作り上げたものが自然に溶け込んで、温かで、時の流れがわかるようなものをモチーフとしました。このイスのように、人間一人一人も互いに受け入れ、認め合えるような光景が、今よりもっと拡がってほしいという想いを込めて制作しました。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021メインビジュアルは、ポスターのほか、ウェブサイト、プログラムチラシ、公式カタログなどにデザイン展開され、発信されます。ポスターやプログラムチラシを掲示・設置していただけるお店・イベントを募集しています。ご協力いただける方は映画祭事務局までご連絡ください!

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

映画祭に応募された10,000本以上の映画をビデオブースで視聴することができます。(本年の応募作品は準備中です)

山形市平久保100 山形ビッグウイング3F

開館時間:10:00-17:00 休館日:月・火曜(祝日を除く)、年末年始

10月は映画祭開催のためお休みです。11月の上映情報は、Webサイトでご確認ください。

金曜上映会×YIDFF 2021

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021をより楽しむために

下記の新作がYIDFF 2021 インターナショナル・コンペティション部門に選出された監督の過去作品を金曜上映会にてお届けします。

最初の54年間

——軍事占領の簡易マニュアル

監督:アヴィ・モグラビ
フランス、フィンランド、イスラエル、ドイツ/2021/108分



元イスラエル兵の証言をもとに構成したこの「占領マニュアル」は、安全保障の名の下に行使される暴力の仕組みを明らかにし、軍事の理論が蔓延る日常に警鐘を鳴らす。『Z32』『庭園に入れば』のアヴィ・モグラビ監督。

ミゲルの戦争

監督:エリアン・ラヘブ
レバノン、スペイン、ドイツ/2021/128分



ミゲルと名乗るレバノン出身のゲイの男。幼少期の暗い記憶や内戦で負った心の傷を抱える彼の複雑な心理を、アニメーションや演劇など多様なアプローチで紐解こうとする。『されど、レバノン』『そこにとどまる人々』のエリアン・ラヘブ監督。

核家族

監督:エリン・ウィルカーソン、トラヴィス・ウィルカーソン
アメリカ、シンガポール/2021/93分



幼少期から核戦争のイメージにさいなまれてきた監督が、家族とともに米各地の核実験施設をめぐる。ネイティヴ・アメリカンの虐殺の記憶をも重ね合わせ、核と人類の歴史、反復される暴力を問い直す。トラヴィス・ウィルカーソンと妻エリンの共同監督。

自画像:47KMのおとぎ話

監督:章夢奇(ジャン・モンチー)
中国/2021/109分



中国山間部の小さな村を舞台としたシリーズの最新作。監督が撮影を開始して10年を迎える冬、村には新しい建物がつくられようとしていた。これまで被写体だった少女たちがカメラを廻し、村の姿を記録し始める。

311 ドキュメンタリーフィルムアーカイブ

2011年3月11日に起きた東日本震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。

山形国際ドキュメンタリー映画祭をご支援下さい

山形国際ドキュメンタリー映画祭は「認定NPO法人」です。認定NPO法人に寄せられた寄付金には、寄付金控除などの税の優遇措置が講じられ、寄付を行なう側、受ける側、双方に有利になります。映画祭や上映活動の継続、新しい事業へのチャレンジをご支援下さい! 詳細はWebサイトをご覧下さい。

www.yidff.jp

(山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中)

ブログ「ドキュ山ライブ」 www.yidff-live.info

Twitter @yidff_8989 Instagram @yidff

メルマガジン「YIDFFニュース」(毎月1回)

www.yidff.jp/news/subscription

コミュニティFM ラジオモンスター 76.2MHz 『モンブラン』内

